

平成24年度後期授業改善プランの概要

1 学力に関する調査結果の分析・考察

	項目(学年,教科等)	状況及びその要因として考えられること											
学校としての課題	1学年 国語	状況	短文は書けるようになってきたが順序立てて書けない。										
	書く力	要因	平仮名を覚えたばかりで、書くことがまだ不十分である。										
	2学年 国語	状況	本校の達成率が、70%にわずかに満たない。										
	読む力	要因	読書好きの児童が多いが、読書量に差がある。										
	3学年 国語	状況	読書に対する姿勢が育っている児童とまだの児童がいる。										
	読む力	要因	登場人物の心情を読み取る等が苦手な児童が多い。										
	4学年 社会	状況	地図記号や絵地図のきまり等の理解が不十分である。										
	観察資料活用 of 技能等	要因	地図を扱う機会が少ない。										
	5学年 理科	状況	基礎問題はできるが、自分の考えを問われる問題では説明できない。										
	科学的な思考	要因	実験に興味はあるが、結果の考察・表現が不十分である。										
	6学年 算数	状況	割合や面積の解き方や考え方が習熟できていない児童が多い。										
	数学的な考え方	要因	答えを求めるまでの過程を理解せず、公式だけを覚えている。										
墨田区共通課題	「学びを律する力」 (区学習状況調査結果)		「ふだんからこつこつ勉強している。」(肯定的回答をした児童の割合)		小2	小3	小4	小5	小6				
			墨田区	78.8%	73.4%	61.9%	55.8%	55.3%					
			H24本校	80.8%	76.9%	89.3%	60.9%	32.0%					
			H23本校	82.3%	81.2%	66.5%	59.8%	58.5%					
	「家庭学習習慣」 (区学習状況調査結果)		「学校の授業時間以外に、1日にどれくらい勉強しましたか(月～金)。」		小2	小3	小4	小5	小6				
			墨田区	66.9分	73.6分	79.1分	89.2分	88.7分					
			H24本校	62.3分	84.5分	95.6分	84.8分	66.0分					
			H23本校	62.6分	51.9分	53.3分	50.4分	52.5分					
	基礎的・基本的な学習内容の定着 (区学習状況調査結果)												
	学力D層の平均到達度 (正答率) 対目標値の70%以上 (すみだ教育指針)												
	国語			算数			理科			社会			
	目標値	70%	D層平均	目標値	70%	D層平均	目標値	70%	D層平均	目標値	70%	D層平均	
小2	67.0	49.6	60.9	76.0	53.2	74.7							
小3	67.0	46.9	63.7	77.0	53.9	66.2							
小4	54.0	37.8	34.6	61.0	42.7	51.6	63.0	44.1	52.9	65.8	46.1	47.5	
小5	50.0	35.0	32.3	56.0	39.2	36.1	60.0	42.0	44.8	64.2	44.9	48.5	
小6	58.0	40.6	31.8	63.0	44.1	31.6	68.0	47.6	43.4	56.0	39.2	27.0	
※ 自校のD層の平均正答率を記入													

2 平成24年度 前期における学力向上、授業改善のための取組について

目標	一人一人の基礎的な学力向上を果たす。	方策	<ul style="list-style-type: none"> ・国語力アップの多様な学習活動を展開する。 ・個別指導支援の充実を図る。
成果指標	区学力向上調査において前年比さらに5%アップをめざす。 ① 国語力のアップ ② 個別指導の充実	取組指標	<ul style="list-style-type: none"> ○「漢字・計算テスト」の取り組みを通じて全児童の知識・技能のポイントアップを目指す。 ○学年毎に詩や俳句、短歌等の暗記暗唱活動に取り組む。 ○「少人数指導」「放課後学習教室」を効果的に組み合わせた個別指導を実施する。 ○「読み深める学習」に取り組む。
	【評価】個別指導により基礎学力の向上は少しみられる。		【評価】今年度校内研究、よみの活動により学習活動が多様に展開されている。
目標	主体的で規律ある学習態度と習慣を育てる。	方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の徹底を図る。 ・家庭学習の習慣化を図る。 ・「主体的に学ぶ活動」の場と機会を増やす。
成果指標	本校の学習規律と学び方を身に付けさせるとともに、家庭における学習時間を確保し、考える力を伸ばし宿題や課題に取り組ませていく。	取組指標	<ul style="list-style-type: none"> ○「大きい声であいさつをする」の目標とともに学習規律として「話の聞き方・ていねいな言葉・ていねい文字」の徹底指導に努め、習得を目指す。 ○各学年目標とする家庭学習時間達成8割を目指して取り組む。 ○一人あたりの発表活動の回数を学年に応じて設定し、取り組んでいく。
	【評価】授業の始めと終わりの規律はできてきた。		【評価】家庭学習時間はほとんどの学年で伸びた。
目標	約1割程度の学力下位層の基礎力アップを目指す。	方策	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導による年間160時間以上の個別指導・支援を実施する。 ・効果的な個別指導・支援のための指導計画を作成し、進行状況や達成度を確認していく。
成果指標	区学力調査において5・6年の全教科平均達成率50ポイント、3・4年の全教科平均達成率60ポイントを目指して取り組みを行う。	取組指標	<ul style="list-style-type: none"> ○「算数少人数指導」「中川きつずワーク」「夏休みチャレンジ学習」等個人にあった効果的な組み合わせをつくり、年間160時間以上の個別指導を実施する。 ○少人数指導「下位層のグループ」の授業分析を定期的に行い個別評価を実施する。
	【評価】達成できない項目が多かったか。		【評価】「下位層グループ」の底上げには真摯に取り組んでいる。

3 平成24年度 後期における学力向上、授業改善のための取組について

目標	一人一人の基礎的な学力向上を果たす。	方策	<ul style="list-style-type: none"> ・国語力アップの多様な学習活動を展開する。 ・個別指導、支援の充実を図る。
成果指標	児童学習アンケート調査で、分かる授業の項目で75%達成をめざす。	取組指標	<ul style="list-style-type: none"> ○「漢字・計算テスト」の取り組みを通じて全児童の知識・技能の5ポイントアップを目指す。 ○学年毎に詩や俳句、短歌等の暗記暗唱活動に取り組む。 ○体験活動や行事等児童が取り組みやすい機会をとらえて作文を書く。 ○「少人数指導」「放課後学習教室」を効果的に組み合わせた個別指導を実施する。 ○「読み深める学習」に取り組む。 ○理科では課題解決型授業を多く取り入れ、結果を自分で書きまとめられるようにする。 ○社会ではノート・ワークシートを活用して資料活用能力を養う。
目標	主体的で規律ある学習態度と習慣を育て、自己肯定感や自尊感情を養う。	方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の徹底を図る。 ・家庭学習の習慣化を図る。 ・友だちのよさを見つけたり、認め合ったりする機会をつくる。
成果指標	子どもが学校生活で生き生きと意欲的に過ごし、本校の学習規律と学び方の意識を向上させる。	取組指標	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつの励行、話の聞き方・ていねいな言葉・ていねいな文字の徹底指導に努める。 ○家庭学習時間をさらに10%伸ばせるように指導に取り組む。 ○集中して学習に取り組む姿や、意欲的な係活動や体験活動を促す。
目標	学力D層の基礎力アップを目指す。	方策	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導による個別指導・学習支援をできるだけ多く行う。
成果指標	本校独自の学習状況調査（年3回）において5ポイントアップを目指す。	取組指標	<ul style="list-style-type: none"> ○「算数少人数」「中川きっずワーク」等個別指導において担任と連絡を密にした取り組みをする。 ○個に合わせた学習を展開する。